

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.31</b>					<b>2.2</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.2</b>	0.15					<b>2.2</b>
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		1.0	0.40					
1 開口部遮音性能		1.0	0.60					
2 界壁遮音性能		1.0	0.40					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		3.0	0.20					
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.9</b>	0.35					<b>1.9</b>
2.1 室温制御		1.7	0.50					
1 室温		2.0	0.38					
2 外皮性能		1.0	0.25					
3 ゾーン別制御性		2.0	0.38					
2.2 湿度制御		1.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
<b>3 光・視環境</b>		<b>2.2</b>	0.25					<b>2.2</b>
3.1 昼光利用		3.0	0.30					
1 昼光率		3.0	0.60					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	0.40					
3.2 グレア対策		1.0	0.30					
1 昼光制御		1.0	1.00					
3.3 照度		2.0	0.15					
3.4 照明制御		3.0	0.25					
<b>4 空気環境</b>		<b>2.7</b>	0.25					<b>2.7</b>
4.1 発生源対策		3.0	0.50					
1 化学汚染物質		3.0	1.00					
4.2 換気		3.3	0.30					
1 換気量		3.0	0.33					
2 自然換気性能		3.0	0.33					
3 取り入れ外気への配慮	外気導入口と排気口が6m以上離れている。	4.0	0.33					
4.3 運用管理		1.0	0.20					
1 CO <sub>2</sub> の監視								
2 喫煙の制御		1.0	1.00					
<b>Q2 サービス性能</b>			<b>0.30</b>					<b>2.6</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.3</b>	0.40					<b>2.3</b>
1.1 機能性・使いやすさ		1.6	0.40					
1 広さ・収納性		3.0	0.33					
2 高度情報通信設備対応		1.0	0.33					
3 バリアフリー計画		1.0	0.33					
1.2 心理性・快適性		2.0	0.30					
1 広さ感・景観		1.0	0.33					
2 リフレッシュスペース	休憩室(執務スペースの1%以上)	4.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		3.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保	清掃用資材保管スペース等。	4.0	0.50					
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>2.9</b>	0.30					<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管は塩ビライニング管(B)、排水管(汚水、雑排水とも)塩ビ管(B)。	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		2.4	0.20		-		
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-		
	3	電気設備		3.0	0.20		-		
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20		-		
	5	通信・情報設備		2.0	0.20		-		
	3 対応性・更新性			2.9	0.30		-	2.9	
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり		2.8	0.30		-		
	2	空間の形状・自由さ	1階の壁長さ比率が0.105である。	4.0	0.40		-		
3.2		荷重のゆとり		3.0	0.30		-		
3.3 設備の更新性	1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-		
	2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-		
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-		
	4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-		
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-		
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-		
	3.0			3.0	0.40		-		
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.39		-	2.5		
1		生物環境の保全と創出		2.0	0.30		-	2.0	
2		まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40		-	3.0	
3		地域性・アメニティへの配慮		2.5	0.30		-	2.5	
3.1		地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-		
3.2		敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-		
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.7		
LR1 エネルギー			-	0.40		-	4.2		
1		建物外皮の熱負荷抑制	BPI=0.72	5.0	0.03		-	5.0	
2		自然エネルギー利用		3.0	0.12		-	3.0	
3		設備システムの高効率化	BEI 非住宅 0.55 住宅(専有部) -	5.0	0.61		-	5.0	
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEI=0.55	5.0	1.00		-		
		集合住宅の評価(3c)					-		
4		効率的運用		3.0	0.24		-	3.0	
		集合住宅以外の評価		3.0	1.00		-		
	4.1	モニタリング		3.0	0.50		-		
	4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-		
		集合住宅の評価					-		
	4.1	モニタリング					-		
4.2	運用管理体制					-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	3.2		
1		水資源保護		3.4	0.20		-	3.4	
	1.1	節水	節水コマ、擬音装置、節水型便器を採用。	4.0	0.40		-		
	1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-		
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-		
2		非再生性資源の使用量削減		3.1	0.60		-	3.1	
	2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-		
	2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-		
	2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-		
	2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	土壌改良:エコマーク商品(採用箇所:外構植栽土壌)	3.0	0.22		-		
	2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-		
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	鉄骨構造なので構造躯体と外壁・内壁・仕上材が容易に取外し、分別可能な計画としている。	4.0	0.22		-			
3		汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20		-	3.7	
	3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-		
	3.2		フロン・ハロンの回避		4.0	0.70		-	
		1	消火剤		-	-		-	
		2	発泡剤(断熱材等)	ノンフロン断熱材を使用	5.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-			
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.4		
1		地球温暖化への配慮	LCCO2排出量は67%	4.3	0.33		-	4.3	
	2		地域環境への配慮		2.8	0.33		-	2.8
		2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
		2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
		2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.5	0.25		-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-		
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-		
	3	交通負荷抑制		3.0	0.25		-		
	4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-		
	3		周辺環境への配慮		3.2	0.33		-	3.2
	3.1		騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40		-	
		1	騒音		3.0	0.33		-	
2		振動		3.0	0.33		-		
3	悪臭		3.0	0.33		-			
3.2		風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40		-		
	1	風害の抑制		3.0	0.70		-		
	2	砂塵の抑制					-		
	3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-		
3.3		光害の抑制		4.4	0.20		-		
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	今回建物に適切な計画となる様、専門家が検討を行った	5.0	0.70		-		
2	壁光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-			